

JA 佐渡 GAP 通信



令和4年3月発行
JA佐渡営農事業部

JA佐渡AS I AGAP研究会では令和元年7月にAS I AGAP団体認証を取得し、日本一安心・安全でおいしい農産物の島の実現を目指し、環境に配慮した持続的な農業の実践に取り組んでいます。『GAP』と聞くと難しいイメージがあるかもしれませんが、皆さんの農業経営の中にも既にGAP手法は取り入れられています！

春作業の今回は『農作業安全』についてチェックをしてみましょう☑

まずは家族や従業員で確認を

- ☐ 家族や従業員と一緒に安全な農作業について日頃から話し合っている
- ☐ 1人に負担が集中しないように役割分担をしている
- ☐ 圃場や農道の危険箇所の情報を共有している
- ☐ 作業場所や作業内容をお互いに伝えあっている

圃場に出る前に

- ☐ 十分に睡眠や休息をとって疲れを残さないようにしている
- ☐ ゆとりある作業に心がけ、無理な計画にならないようにしている
- ☐ 機械に巻き込まれないよう作業に適した服装をしている
- ☐ 万が一に備えて緊急時の連絡先を周知してある

危険箇所を把握して 事故防止対策の実施を

- ☐ 圃場への移動で通行する農道などの危険な場所を把握している
- ☐ 圃場の凸凹、畦の崩落などを常に確認し、すぐに補修している

圃場で作業を始める前に

- ☐ 農機具を使用する作業の際、周囲に人がいないか安全確認を行っている
- ☐ 高所など危険を伴う作業は、必ず複数人で行っている

農業用機械の使用前に

- ☐ 日頃からブレーキや安全装置の点検と動作確認をしている
- ☐ 燃料給油時や点検・補修時には必ずエンジンを停止している
- ☐ 機械を始動・運転する際は、周囲の安全を確認している

農作業には様々な危険が潜んでいます。
安全確認と予防対策で事故を防ぎましょう！

